



SHOUTOU-GAKUSYN

公益財団法人
佐賀育英会

松濤学舎

松濤だより 第23号



松濤学舎 HP

令和7年7月31日発行

新“松濤丸” 満を持して船出す！ —令和7年度入舎式—

4月6日17時より学舎食堂において12名（男5・女7）の新入生を迎え、来賓6名の列席のもと、厳粛な中にも賑々しく入舎式を挙行了しました。

式ではまず、大坪信剛^{しんごう}理事長から、一人一人に入舎許可書が授与されました。

引き続き、同氏から、佐賀育英会発足時の趣意書の内容（「若者の育成ほど大事なものはないこと」や「将来の日本を背負ってほしいこと」等）の紹介がありました。そして本学舎



の歴史、“松濤”の由来等を踏まえ、「1年1年が目まぐるしく更新される時代では現場に足を運んで自分の中に落とし込み、判断することが肝要である」という日本通運の堀切智社長の言葉を引用しながら「学生寮のリアルな生活をとおして社会における人とのつながりや様々な経験をしてほしい」と

激励されました。

また、城島栄一郎評議員会議長からは、「人生100年時代。君たちは残り80年もある。だから何にでもなれるし、何でも出来る。夢を持って社会に貢献してほしい。そのためには目標を立てて期間を設定する。その際、トライ&エラーが生じるが、失敗を恐れない。失敗してもそれが自分を高めることにつながる。大学の4年間はやり直しがきく。トライが重要。そして大学時代に友人を積極的に作れ。その友人が人生の宝物だ。大学のスタッフも大いに利用して自分を成長させ、社会に貢献せよ」と檄を



飛ばされました。

そして伊藤^{きよはる}聖治舎友会(OB・OG

会) 会長からは、「自分は39年前の入舎生。秋に開催するに舎友会には必ず出席してほしい。入学時は、緊張してもたもたするけど、まず隣の人に声をかけて一歩踏み出そう！自分の気持ちを正直に伝えると相手も同じ感覚になって友人が増えコミュニケーション能力が上がる。また、ITの勉強や語学を習得して資格を取る。その分お金にかかるが65歳まで仕事をする事を考えると1、2年頑張るだけで大きく活躍出来るから頑張って」と先輩らしいエールを送っていただきました。

新入生を代表して、下平紗楽さん(さくら)から「歴史ある学舎に入舎出来たことに感謝している。この場所で、新しいことを学び、自分を豊かにしたい。新入寮生12名が助けて合って伝統ある学舎で日々精進します」と決意を込めたお礼の言葉がありました。

これに対し、川副太郎寮長は「大学生活は人生の春休みと云われるが、責任をもってアンテナを張り楽しく寮生活を送ってほしい。困ったことがあったら大いに頼って！」と親しみを込めて歓迎しました。

その後の歓迎の宴でも、多くのご来賓の方から激励の言葉を頂戴するとともに、初々しくも凛々しい新入舎生の決意の言葉がこれからの活躍を期待させてくれました。



寝食をともにし、先輩と後輩とがしっかりとした絆を築き、充実した学生生活を送ってくれると確信しています。新『松濤丸』無事、船出しました！

ハンパない疲労！ハンパない達成感！ —恒例山手線1周ウォーキング—

5月5日、連休のさなか、学舎恒例の“山手線1周ウォーキング”が敢行されました。上級生と下級生がチームを組み、新宿駅と東京駅を起点に内回り・外回りの4方向に歩いて1周するイベントです。途中、ルーレットで特典や条件が付加され、その指示に従いながら約34.5kmを踏破します。ある意味サバイバルですね！

新入舎生にとっては期待より不安の方が大きかったかもしれません。しかし、それだけに歩き終えた時の表情は何ものにも替えがたい素敵な笑顔でした！皆さん本当にお疲れ様！体力もそして絆も、ぐっと強くなったようです！

「チーム高学歴パラダイス」

1年 東嶋 海

松濤学舎の毎年恒例行事である山手線1周に今回初めて参加した。その日は朝の午前4時20分に学舎のロビーに集合ということで私は受験期以来、久しぶりに朝4時に起きた。眠気よりも興奮が勝っていた私は、電車の中で眠そうにしている同期にちょっかいをかけた。私たちのチームは電車で新宿まで向かい、朝5時30分頃に山手線1周をスタートさせた。最初の朝ご飯を決めるルーレットでは、先輩の強運のおかげで池袋の美味いうどんを食べることができた。たっぴりとエネルギーを補給した私たちは順調に歩みを進め、2回目のルーレットを迎えた。ルーレットの結果、先輩の荷物を持つことになった。いつもお世話になっている先輩の荷物を持つことは嫌な気持ち

になるどころか、むしろ喜びを感じた。さらに歩き進める中で、3回目のルーレットでは先輩のものまね、4回目のルーレットではシャトルラン2回をこなした。そしてついに中間地点である東京駅に到着した。初めて目にする東京駅の美しい外観に私は魅了された。しかし、ちょうどお昼を過ぎた頃から日差しが強くなり、最初のワクワク感は徐々に疲れへと変わっていった。昼食は中華料理屋さんに行き、美味しいチャーハンが私の疲れを癒してくれた。再び元気を取り戻した私たちは重い腰を上げて再出発し、5回目のルーレットではインスタ投稿、6回目のルーレットでは先輩と後輩の立場逆転をこなした。個人的にはこの先輩と後輩の立場逆転がルーレットの中でも1番面白かったため、特に印象に残っている。いよいよラストスパートに差し掛かる



頃、ついに私のふくらはぎが痛み始めた。小学校から高校までサッカーをしており、体を動かすことに自信を持っていた私は少し不甲斐ない気持ちになった。それでも一歩ずつ進み続け、最後のルーレットの機会が訪れた。最後のルーレットでは私が先輩におんぶして運んでもらうことになり、疲労のピークに達していた私にとって本当にありがたかった。そのまま勢いに乗った私たちは最後の力を振り絞り、20時頃に無事ゴールすることができた。

この経験を通じて私が気づいたのは先輩のかっこよさである。思いがけないトラブルにも冷静に対応するかっこよさ、たくさんお話をする中で感じた人としての生き方ににじみ出るかっこよさ、どんなにきつい状況でも後輩をおんぶして運んでくれるかっこよさ。この山手線1周では様々なかっこよさを発見することができ、先輩に対する憧れと尊敬の気持ちがより大きくなった。この経験を自分自身の成長へとつなげていきたい。

「チームもくもく」

1年 作本和楓

山手線1周の当日、4時半頃に寮で記念撮影をして出発しドキドキとわくわくのなか東京駅に向かいます。5時40分に東京駅に到着、ついに山手線1周スタートです。2駅ごとにチーム名通りのもの



もくもくタイムをはさむことが決定し、始まって早々に山手線1周の終了時間への不安を抱きながらも歩き始めます。4駅歩いた田町駅で初ルーレットを回してでたのはバナナではなく麺類。朝ごはんはうどんやそばを食べました。お腹も満たされ元気に歩を進めます。高輪ゲートウェイ駅の綺麗さや東京の都会具合に驚きつつ五反田駅で2回目ルーレットを回します。プリクラ撮影に決まりましたがまだ朝早くゲームセンターが開いていなかったため先送りとなります。順調に進んで行き恵比寿駅で舍監さんと夫人さんにお会いし写真撮影をしました。ハチ公に寄って初めてハチ公の銅像を見たのち原宿でルーレットを回し自販機で乾杯を引きました。原宿では寄り道してプリクラを撮ってからクレープを食べました。プリクラ撮影とスイーツを楽しんだことで

テンションが上がる一方、寄り道やもくもくタイムによって他のグループよりも遅れていたため焦り始めました。公園で寄り道しシーソーを楽しみつつお昼ご飯を決めるルーレットを回し、夕方に差し掛かった目白駅のスタバでご飯を食べました。

道中 LUUP を使いたい誘惑にかられつつ田端駅まで移動します。この頃には、疲れ果てて休憩中に寝てしまう程に足と体力が限界に近づいていました。田端駅で天気の子のラストシーンを再現したのち更に進みます。ルーレットでサーティーワンアイスクリームを引きますが、既にお店が閉店していたため代わりにコンビニでからあげくんやスイーツを購入しました。アメ横ではいちごあめを食べてラストスパートをかけ、秋葉原駅に到着しました。ここで運命の最後のルーレットを回します。奇跡的に2駅スキップを引き、他チームの方に疑われながらも最後の2駅を山手線で移動します。21時30分、ようやく東京駅に到着し長い長い山手線1周が終了しました。チームもくもくが堂々の最終ゴールでした。始まるまでは体力面・体調面で不安いっぱいだった山手線1周でしたが、終わってみればあっという間で楽しく貴重な経験ができた1日でした。

「チーム エンジョイウォーキング」

一年 堤 真優・山下祐輝

不安とワクワクの入り混じる感情のなか新宿駅をスタートしました。1番初めは代々木駅、思ったよりも早く着きました。これは楽勝なんじゃないか？正直そう思いました。

しかし、原宿までの道のりは長く現実を突きつけられました。また、朝早かったため、人が少なく、レアなガラガラの竹下通りをみる事ができました。そうはいっても、平和でエンジョイなメンバーとおしゃべりの時間が楽しく、あっという間に最初のルーレットの時間になりました。バナナだけは避けたかった朝ごはん、隊長のりなさんが朝マックを引いてくださり、大喜びでした。なんならジャンプして喜びました。



マックで元気をチャージし、目黒に向けて再出発しました。ここからは坂が多く、佐賀の平野を恋しく思いました。2つ目のルーレットの地は品川で、なかなかのラインナップの中、ラジオ体操を引き当てました。とても嬉しいとは言えない感情のなかラジオ体操ができる場所を探し、みんなで踊りました。アイスタイムをとり、恥ずかしかった記憶を溶かしました。

新橋までの道中、どういう訳か先輩たちの LINE のアイコンがプリティーでキュアキュアになりました。東京駅に到着すると、早速先輩たちとはぐれました。しかし、絆が強いため、すぐに見つけることができました。西田さんが買ってくれたシャボン玉セットで東京駅をさらにエモくしました。半分の達成感とお昼ご飯の喜びで胸がいっぱいになりました。みんな気になるお昼ご飯の内容は、まさかの高級ステーキ丼。衝撃の価格に目がとび出ましたが、みんなで食べた幸せな時間は一生ものでした。神田ではルーレットでまさかのシャトルランを引き当て、久しぶりのシャトルランを楽しみました。無駄な脂肪と恥ずかしさはここで捨てました。上野のアメ横ではなつきさんとはるきさんがいちご飴を買ってくださいました。人生で食べたいいちご飴で1番美味しかったです。西田さんはここでス

イカも追加。その甘さを堪能しながら、鶯谷に着いたに。(爆笑)次の駅まで走り、みんな達成感のあまり日暮里でにっこり。お分かりの通り、みんなダジャレモードに突入。田端ではばったりバツと遭遇しました。なんちゃって。もうここまできたら家族も同然、家族ごっこでも楽しみました。意外なことにも 1 番のりのりだったのはりなさんでした。一家のママとしてパパの園田さんとみんなをまとめてくださいました。

心は元気でしたが、ついに体に異変が出はじめました。足裏に痛みが走りましたが、なんとか家族愛で乗り切りました。巣鴨では一攫千金をねらい、宝くじに挑戦!結果は察してください。日もくれて、池袋の街の灯りが見えてきました。都会の雰囲気にも圧倒されながらも、何とか高田馬場につきました。ここで園田さんがルーレットを引いてくださり、なんと2駅飛ばしてゴール!!さすがパパ!!終わったところには先輩と後輩の壁が消え、すっかり打ち解けていました。

松濤学舎に入ってほんとによかった。心からそう思えた山手線1周になりました。先輩方ありがとうございました!

「チーム キューティーファンタジー」

一年 下平紗楽

朝日がゆっくりと昇っていくのを見ながら始まった、私たちキューティーファンタジーチームの山手線1周。寮を出発する時はまだ低かった太陽も電車に揺られて東京駅に着くころにはすっかり昇っていました、「本当に最後まで歩けるのだろうか」という不安と、「どんな一日になるのだろうか」というワクワクした気持ちを抱えて、約40kmというフルマラソン並みの距離を歩き始めました。

私たちは東京駅スタートの内回りルート。最初の目的地は神田駅でした。スタート直後は、上級生の女子メンバーが来られなくなってしまったというショックもありましたが、森田さんが声をかけてくださったり、吉丸さんが道を先導して歩いてくださったりと、本当に心強かったです。神田駅に到着すると「せっかくだから動画を撮ろう!」ということになり、撮影を開始。写真では伝えきれない表情や気持ちを思い出すことができる、大切な記録になりました。最初の動画では、「まだ1駅しか進んでいません!ごはんまであと3駅です!」と、朝ごはんへの期待があふれていました。

上野駅に到着すると、ついに運命のルーレットタイム!第1のルーレットを回したのは居石くん。ドキドキの結果は、なんと「カフェ」!みんなで仲良くドトールのモーニングを食べて、エネルギーチャージ。4駅分の道のりの後だったこともあり、朝ごはんは本当においしかったです。その後も鶯谷、日暮里と順調に進み、西日暮里駅ではチーム高学歴パラダイスと合流。気温が上がってきて、疲れが出てくる頃でしたが、他チームと交流することで元気をもらいました。2回目のルーレットでは「ガチ腕立て伏せ」が当たり、チームを代表して森田さんと末石くんがやってくれました。さらに歩いて大塚駅に到着。ここではパンを食べて少し休憩。つつい長く休んでしまいそうでしたが、他のチームの進行状況を見て、私たちも再び歩き出しました。3回目のルーレットでは「次の駅まで英語縛り」。昼が近づき、空腹と暑さで思考力も低下気味、、、「何を食べ



たいか?」と英語で話し合うのもなかなか大変でした。目白駅、高田馬場駅を通過し、新大久保ではたくさんの人に圧倒されつつも、婦人さんと舎監さんに出会い、後半戦へのエールをいただきました。

そして新宿駅。待ちに待ったお昼ごはんは、みんなでスシローへ。前半戦の疲れを癒し、しっかり食べてパワーを回復!4 回目のルーレットでは「スタバ」が当たり、冷たいドリンクで涼しくなりました。そこからは人の多い渋谷・恵比寿方面を歩き、恵比寿駅で動く歩道を見つけてちょっとした休憩も挟みました。終盤、末石くんが高輪ゲートウェイから田町駅まで急に走り出し、まるでラストスパートのようにチームを引っ張ってくれました。その勢いのまま、ゴールを目指して新橋へ。最後のルーレットを回し、ついに東京駅に到着!人数が少ない私たちにとって、「全員でゴールできるのか?」という不安もありましたが、無事に全員で東京駅に戻ることができて、本当に嬉しかったです。きつい時間帯もありましたが、それ以上に笑顔と楽しさが心に残る1日でした。参加して本当に良かったと思います!

かごんまの肉はわっぜうまかね～ ー鹿児島県の学生寮と交流ー

7月6日、日野市にある鹿児島奨学会同学舎（鹿児島県の学生寮）からのお招きを受け、バーベキュー大会に本学舎から12名が参加しました。

広々と緑豊かで遠くに多摩丘陵を眺めることができる同学舎の広場で焼き肉や新鮮な野菜、さつま揚げ、芋焼酎などをいただきながら交流を深めました。

当日は薬丸野太刀自顕流の演武及び体験もあり、普段なかなか目にできないものにも触れ、たくさんの刺激を受けました。

会には北海道や山形県、奈良県の学生寮からの参加もあり、人脈がまた広がったようです。こうして人はつながっていくんですね～。



【自治会前期役員】

寮 長 川副太郎
副寮長 今村真・山口玲愛
会 計 溝田優也
書 記 澤野爽苺
給 食 澤野爽苺・副島梨那
美 化 園田航士・金津伊央莉
図 書 本山綜一郎・伊東由夏
広 報 森田麗翔
イベント 森田麗翔・山元麻衣
ネット 西田晴揮

学生自治会

4月 バーベキュー
5月 山手線一周・スポーツ大会
9月 寮祭（一泊旅行山中湖）
後期寮長選挙
11月 前原町運動会
防犯講座・バーベキュー
12月 大掃除
2月 次年度前期寮長選挙



学舎行事

4月 新入生オリエンテーション 入舎式（6日）
8月 夏季休業（10～20日）
9月 就活のための舎内勉強会（14日）
11月 舎内講演会（13日）
12・1月 冬季休業（28～4日）
2月 退舎式（7日）



保護者会からのお知らせ

今年の九州の梅雨明けは早かったですね。関東は少し遅れての梅雨明けとなったようですが、例年以上の酷暑となっています。

さて、今年は男子5名・女子7名、計12名の新生が入舎し、女子の総数は17名となり、男女共住寮として、一層、活性化しています。

1年生の保護者におかれましては、お子様の大学や学舎の生活状況等大変気になるところかと思えます。5・6月には、岩橋舎監による寮生全員面談がありました。特に大きな問題もなく、学舎生活は快適で食事美味しいと好評価とのことでした。

また、7月1日には12年間お勤めになられた岩橋 誠・智恵子夫妻にかわり、下村昌弘・亜紀夫妻が新舎監・寮母として着任されました。新たな学舎の展開を期待するところです。

ところで、例年、学生自治会活動（寮祭等）補助費として、保護者会会費二千元を徴収させていただいています。つきましては、たいへんお手数をお掛けしますが、今年度も左記のゆうちょ銀行口座に各自、振り込んでいただきますよう、学生たちの充実した活動に向け、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

保護者会会長 今村 肇
保護者会会計 川副 史郎

保護者会費
2,000円

【振込口座】
ゆうちょ銀行
名義：ショウトカクシヤ
記号：17450
番号：17415201



シューカツ・ベンキョーしようぜ！

ー松濤学舎向け県内企業・事業所紹介ー

舎友会の百武敬弘さんのお力添えで定期的に実施している舎生向けの勉強会。今年度は久光製薬、佐賀銀行に続き、7月10日に昭栄化学工業株式会社（本社：東京都）の鳥栖事業所から遠路、村岡諒一氏、毛利亮紀氏にお越しいただき、会社概要をご説明いただきました。



当日は夕刻から線状降水帯の発生や人身事故によるJR中央線の遅れで、定刻スタートが危ぶまれましたが、小金井市近辺の地理に精通していらっしゃる両氏の機転を利かした動線と舎生の迅速な帰寮により、無事予定どおり開催することができました。

同社は、積層セラミックコンデンサーや量子ドットブルーライトの素材を製作する、いわば情報通信、自動車、コンピュータ等のエレクトロニクスイノベーションを“川上”から支える会社とのこと。

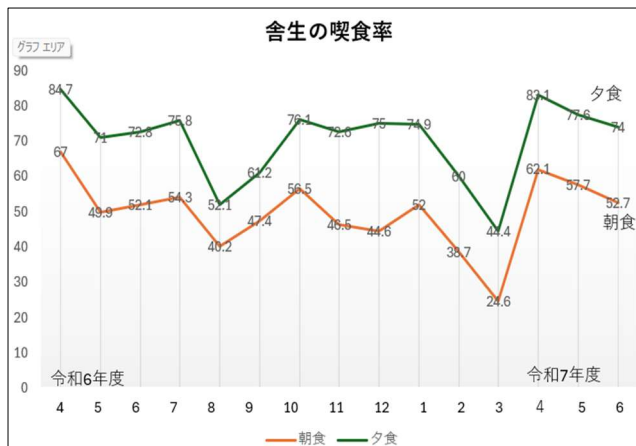
しかも両氏ともに松濤OB！後輩たちへの説明にも熱を帯び、終了後も質問が飛び交いました。

舎生の眼がどんどん社会に開かれていくことを期待しています。

しっかり食べよう朝ごはん ー目覚めよ！頭と体！ー

学生生活は大半が個人に責を負うことになります。生活リズムも人によって異なり、夜遅くまで勉強するタイプの人であれば、早起きして机に向かう人もいます。自分の責任の範囲で比較的自由的な時間を過ごすことができる学生生活を一律に統制することはしたくないのですが、朝食は別。もれなくしっかり食べてほしいと願っています。

舎生のこの2年間の喫食率を調べてみました（グラフ参照）。4月や10月は学期初



めの緊張感もあってか、食事がしっかりとれているようですが徐々に落ち込んでいるのが分かります。夏休みや冬休みは帰省等もあり喫食率が減ります。これは仕方ありません。注目したいのは7月と1月。このふた月は1年間のうちではまあまあ喫食率が上がります。これはおそらく大学の定期試験の時期だからだと思われます。

つまり、知ってか知らずしてか、食事を摂ることにより、脳へのエネルギーを補給し、試験へ対応しようとしているのです。とするなら、朝食や夕食を日常的にしっかりとるような習慣が出来れば、通常のパフォーマンスも自然と上がるわけです。

特に朝食は体温の上昇や便秘の予防・解消に役立つと言われています。朝食で夜眠っていた体と頭を目覚めさせ、1日の生活リズムを規則正しく整えましょう！

災害用伝言ダイヤルの活用を！

近年、地震や豪雨、竜巻などの自然災害の発生が頻発しています。想定外の災害時には回線が込み合いつながりにくくなります。

そうした中、学舎においては、スムーズに連絡できる“災害時の声の伝言板”を利用した安否確認（連絡）を勧めています。

学生のみならず、ご家族で利用いただくことにより、不安の軽減ができると思います。ぜひ一度お試しください。災害伝言ダイヤル 171 の基本操作方法は右図のとおりです。



【編集後記】[↑]
6月末に12年の長きにわたって中心的に本学舎のかじ取りに当たられた岩橋誠・智恵子夫妻が退任をされました。お二人はいつもユーモアを忘れない、優しく、そして厳しい方でした。▼離任は学舎業務の整理の都合上、深夜、未明の時刻となりましたが、出発の気配を感じた、夫妻を慕うたくさんの舎生たちが見送ったとのこと。氏の人徳が偲ばれる素晴らしいエピソードです。▼代って7月1日付で新舎監として着任しました下村昌弘・亜紀です。ともにこれまで佐賀県で教員として働いてきました。今度は前途有為な学生さんたちをサポートする使命の重さにやりがいを感じています。▼舎監・寮母は東京の父と母。岩橋前舎監の熱い思いを引き継いで仕事に当たります。どうぞよろしく願います。[↑]

松濤学舎 舎監 下村昌弘[↑]

